

HOTEL JUNKIES

ホテル vol. 82
ジャンキーズ

ホテル
愛好家の **生** 800yen
情報

特集 外資系ホテルブランド徹底検証

チェーンホテル別
主力ホテルブランド一覧



東京のホテル50軒 当日レート調査

CS満足度



ハート5つ。何よりふつうのホテルにはない宿泊客をもてなすサービスがうれしい。エントランス前の蓮やプールが美しくリラックスできた。



プーケット空港に着くと、たくさんのお客様が迎えの運転手がいる中、名前が書かれたホテルの迎えの札を見つけてホッ！ 空港を出てまもなく車は停まり歓迎の言葉と車中のサービスが書かれたGMからの手紙を渡された。冷たいお絞りをもらって一息、レモングラスの香りがタイらしい。冷たい飲み物もありがたい。車内での音楽リストやホテルのエクスカージョンの案内ルームサービスメニューまで座席前に用意されていた。車内からの注文で、食事を部屋に用意しておいてくれるよ。うだ。一時間ちよつとでホテルに着き車を降りると、数人のスタッフが出迎えてくれた。花束をもらい、料飲部門のマネージャーが手を差し出し握手。ロビーには、日本人スタッフ、女性のGMまで。さらに感激したのは、ロビーの向こうに広がる蓮の池。まだ午前中で、花がきれいに咲いていた。

ご好意でサロジンスイートにアップグレード。花を浮かべたフラワーバスに年甲斐もなく感激。部屋のパンやチップスは無料でいつでも気ままに食べることができ、これが美味しい。朝食は自由な時間に好きなだけ食べられるので、お昼は軽く部屋のパンとチップス、それに冷蔵庫に入っているリースナブルな価格のミニサラダや生ハム、サラミ、チーズとワイン、毎日追加してくれるフレッシュフルーツで十分。朝食は、銘菓物のシャンペン以外は宿泊料に含まれ、メニューから選ぶ。メニューにないものも可能なら作ってくれる。朝からスパークリングワインあり、生ジュースもオレンジ、グアバスイカ、セロリなど。クロワッサンはじめ、パンがおいしい。南国らしいのは好物のバナナケーキ。ここで初めて食べたトリュフオイルのスクランブルエッグが気に入る。一日続けて食べた。実は私はタイ料理の香辛料が苦手。チエックインのとき、「食べ物でダメなものがあるか」訊ねられ、「タイのハーブがダメ」と答えたら「伝えておきませうけど入っていないものもあるから大丈夫」と言われた。確かにそのとおりで、「タイの経験」と名づけられたサテや卵麺のホームメイドの焼きそばは美味しかったし、野菜春巻きや、酢豚は中華風だった。長期滞在者が多いからか、タバサやアジアナイトなどイベ

ントダイナーも用意されている。

行った時期のタイは雨季。着いた日と翌日はほとんど雨。それも時折バケツの水をひっくり返したようなスコールドだった。大きな傘があったが足元に水がたまり、ひどいと出歩く気がせず、合間を狙って食事に出たり散歩したり、後は部屋でゴロゴロカスパでマッサージ。三日目によく晴れ、午前中はきれいなプールのブルーサイドでゴロゴロ。午後からはシャトルサービスでカオラックの町へというぐうたらな私たちだったが、アクティブ派には、エクスカーションが用意されている。

ホテルのショップとライブラリーに行くと、ジンジャーティーや冷たいお絞りのサービスしてくれるのがうれしい。プールでも係の人がお水やジュース、お絞り、タオルをタイミングよくサービスしてくれた。

帰国の出発は早朝四時半にもかかわらず、朝食のポックスを用意してくれ、日本人スタッフが見送ってくれた。帰宅したら早速、日本人スタッフから、オーナーからのお礼のメールが入っており、サービス向上の意見を求められ、ありきたりではないサービス精神が伝わってきた。二つ目のサロジンが出来た話もあるというのが楽しみ。

宿泊代 無料宿泊券利用。食事代、スパ代金は別途支払い。
予約法 日本の代理店を通して予約。

〇次に泊まる方へ
アクティブ派には、楽しみがいろいろ用意されているので、乾期の滞在をお勧めしますが、ゆつくりしたいぐうたら休養派なら、雨期もいでしょう。日本人スタッフがいって、ライブラリーには日本語の本も数冊。食事はアジアの方が私は好みでした。レストランは、海岸近くのタイ料理のレストランと中央のイタリアンレストランですが、どちらも、どのレストランでも部屋でも食べられます。
はやし・いくこ

●神戸に転居後、HJCにはご無沙汰さみです。最近ではクルーズ中心の旅行でホテル宿泊は減りましたが、今年は寄港地タオルミナのサンドメニコパレスやソレントのグランドホテル・エグゼルシオールでお茶を飲み、やっぱりいいと感激。

